

釧路芸術館アートシネマ2015

日本名作特集特別上映講演会

主題 「映画監督 相米慎二が日本映画に及ぼした影響」

講師 榎戸耕史 映画監督 桜美林大学芸術文化学群 映画コース教授
平川浩司 (株)エンジンフィルム代表取締役社長 CM映像プロデューサー

9/26 (土) 13:00~16:30



特別上映

「風花」

2001年制作作品

1回目 上映 10:00~
講演 13:00~
2回目 上映 14:00~
上映後講演 16:00~16:30

小泉今日子、浅野忠信
麻生久美子、香山美子
尾美としのり、小日向文世、酒井敏也

釧路江南高校出身の映画監督相米慎二は、1948年岩手県に生まれ多感な青少年期を北海道釧路市で過ごします。釧路江南高校を卒業し中央大学進学後、学生運動に参加し大学を中退、長谷川和彦監督の口利きで契約助監督として日活撮影所に入所し、1980年から2001年まで13本の監督作品を残し、2001年9月9日にお亡くなりになりました。生涯の作品数が13本は決して多くはありませんが、現在においても多くの映画関係者、俳優がその影響を賛美します。俳優の発掘そして再生においてはその右に出るものはおらず、「相米監督に会わなければ今の自分はいない」という俳優は数多く「新人発掘の相米」として現在活躍する多くの名優のデビューを抜擢しました。死後も、日本映画史にのこる名監督として学術的に研究されている数少ない映像芸術家です。

今回の講演は、相米慎二監督をアートシネマ2015年で取り上げるにあたり、「相米慎二が日本映画に残した影響」をテーマに「芸術としての興行映画」を模索します。

講師には、映画監督であり多くの相米作品において助監督を務められ、相米の盟友として『映画芸術no.401総力特集 相米慎二』の監修にあられた相米研究の第一人者で、現 桜美林大学芸術文化学群 映画コース教授の榎戸耕史氏と(株)エンジンフィルム代表取締役社長・CM映像プロデューサーで、JAC(日本アド・コンテンツ制作社連盟)とACC(全日本シーエム放送連盟)両団体の理事であり日本映画TVCM業界の重鎮である平川浩司氏をお迎えいたします。平川氏は、生前相米慎二を公私ともに支えた人物のお一人でもあり、日本を代表する映像制作の名プロデューサーです。

釧路芸術館の蒐集テーマの一つ「映像」、中でも「興行映画の芸術」について映画監督でもあり研究・教育者である榎戸氏と興行映像のプロデューサーの平川氏のお二人から同時に話を聞くことのできる希少な機会に恵まれました。

研究上映は、相米監督の遺作となった「風花」です。この映画は2001年小泉今日子、浅野忠信の主演で北海道を舞台にしたロードムービーで、現在TV・映画でブレイクしているたくさんの俳優陣が出演されています。スリルな女性を演じるキョンキョン、ぼろぼろなサラリーマンの浅野忠信と、新しい魅力を発揮する主役陣にベテランの香山美子、まだ注目されていない俳優陣の魅力満載の演技、特に酒井敏也の名演は注目です。

諸事情によりレンタルでも観ることの機会が少ない作品です。是非この機会に会場に足をお運びください。

お問い合わせ 北海道立釧路芸術館 〒085-0017 釧路市幸町4丁目1番5号
Tel:0154-23-2381 Fax:0154-23-2386

当駐車場は8台分のスペースしかありません。満車の場合は、市営錦町駐車場をご利用ください。
なお、市営錦町駐車場をご利用の際は、受付に駐車券を提示いただくと、割引が適用となります。